
B-EN-G、現場作業を支援するソリューション「orishia Glass」を提供開始 産業用スマートグラスと遠隔支援ソフトで正確な作業と迅速な対応を両立

ビジネスエンジニアリング株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長:羽田 雅一、以下「B-EN-G」)は、製造業をはじめとする現場を伴う全ての産業向けの現場支援ソリューション「orishia Glass(オリシアグラス)」を、2026年9月1日より提供開始することを発表します。

本製品は、日本製産業用スマートグラス「InfoLinker3(インフォリンカースリー)」と現場支援ソフトウェア「LinkerWorks(リンカーワークス)」で構成され、作業者の視界へのナビゲーション表示や遠隔地からのリアルタイム支援を可能にします。本製品の導入により、管理者がその場にいなくても正確な作業と迅速な対応を両立できる現場環境を構築でき、業務効率化や技能継承に貢献します。

「orishia Glass」製品ページはこちら
<https://www.orishia.com/product/glass/>



■提供の背景

現在、製造業をはじめ、建設、物流、メンテナンスなどの現場では、以下のような課題が深刻化しています。B-EN-Gは、これらの課題を解決する実践的なソリューションとして「orishia Glass」の提供を開始しました。

- 移動コストおよび作業負担の増大:
現場への移動や確認・報告作業にかかる時間とコストの削減が求められている。
- 人手不足と技能継承の断絶:
労働人口の減少に伴う人手不足と、熟練技術者の引退によるノウハウの共有・継承が急務。
- 品質のばらつきとヒューマンエラー:
複雑な作業工程における手順不徹底や確認不足によるミスの防止が課題。
- 設備トラブルによるダウンタイム:
専門家が現場に到着するまでの時間ロスが生産ラインや復旧の遅れに直結。

■「orishia Glass」の特徴

特徴1.【ハードウェア】通信環境を選ばず、手を止めない堅牢な産業用スマートグラス

モバイル通信(4G LTE)に対応した日本製産業用スマートグラス「InfoLinker3」を採用。Wi-Fiのない屋外や広大な現場でも単体で通信できます。さらに、作業を中断せず電源を維持できるバッテリーのホットスワップ機能や、ハンズフリー操作ができる音声コマンドに対応。また、IPX5相当の防水性能とIP6X相当の防塵性能を備え、荒天時や粉塵が舞う環境でも使用できます。騒音下でも声が届く骨伝導ヘッドホン(別売)にも対応しており、過酷な現場でも手足を止めずに、作業を継続できます。

特徴2.【ソフトウェア】正確な作業と迅速な対応を両立する作業ナビとリアルタイム遠隔指示

専用ソフトウェア「LinkerWorks」により、視界上に作業手順を表示する「作業ナビ」と、遠隔地から映像を見ながら指示を出せる「作業サポート」を提供します。作業者は視覚的なガイダンスに沿って正確に業務を進められるため、ヒューマンエラーの削減と作業手順の標準化を実現。熟練者が現場に同行しなくても、遠隔からリアルタイムに指示を出せるため、経験の浅い作業員でも本番作業の中でその場の判断を仰ぎながら、正確かつ迅速に業務を遂行できます。通信の暗号化やオンプレミス環境での構築にも対応しており、高度な機密保持が求められる製造・インフラ現場でも導入いただけます。



■活用シーンの一例

「orishia Glass」は、さまざまな産業で幅広くご利用いただけます。以下はその代表的な活用シーンの一例です。

- 製造業：作業要領に沿ったナビゲーション表示によるミス防止と、熟練者の遠隔指示による品質向上。
- メンテナンス業：遠隔地の管理者とのリアルタイムビデオ通話による作業サポートおよび作業履歴の自動保存。
- 物流業：配送先情報や手順のディスプレイ表示、配送センターからの遠隔作業指示。
- 建設・土木・測量：LTE通信を活用した屋外現場での遠隔臨場、現場状況の写真・動画エビデンス記録。
- 海運・造船・港湾：陸上拠点の専門家から海上・船内への遠隔支援による移動コスト削減と緊急時対応。

■今後の展望

B-EN-Gは今後、「orishia Glass」の機能強化を継続するとともに、現場作業向けDXブランド「orishia」における他領域製品との連携を深めてまいります。orishiaは「習得(VR-learning、Skill Studio)」で事前に学び、「実践(Glass)」で本番作業を正確かつ迅速に遂行し、今後の「記録・解析」へとつながるサイクルを通じて、現場主導のDX推進を支援してまいります。

■「orishia(オリシア)」について

orishiaは、現場の「人」「情報」「技術」を”織りなす”という想いから生まれた、現場作業向けのDXソリューションブランドです。製造業をはじめ現場を伴う全ての産業を対象に、現場業務の「習得・実践・記録・解析」をトータルで支える製品群を展開しています。現場のデータを企業の資産に変え、働く一人ひとりの力を最大限に引き出すことで、組織全体の実行力を高めます。

「orishia」の詳細は <https://www.orishia.com/> をご覧ください。

■ビジネスエンジニアリング株式会社について

ビジネスエンジニアリングは、製造業を中心としたお客様のデジタル変革をITで支援しています。IT企画からシステムの構築、導入、運用にわたるコンサルティングおよび支援サービス、ならびに自社開発のパッケージソフトウェア「mcframe」の販売、導入で豊富な実績を有しています。また、基幹業務システム(ERP)やサプライチェーン(SCM)、IoT等で蓄積されたデータを活用して、システムの高度化やカイゼン活動をお手伝いしています。中国(上海)、タイ(バンコク)、シンガポール、インドネシア(ジャカルタ)、アメリカ(シカゴ)の5ヶ所に海外子会社を有し、海外進出企業に対しても、日本と現地でよりそいながら製品やサービスを提供し、お客様の経営課題を解決しています。

ビジネスエンジニアリング株式会社の詳細は <https://www.b-en-g.co.jp/> をご覧ください。

【当報道に関してのお問い合わせ窓口】

ビジネスエンジニアリング株式会社 経営統括本部 広報グループ
電話:03-3510-1619 / E-mail:kouhou@b-en-g.co.jp

【当サービスに関してのお問い合わせ窓口】

ビジネスエンジニアリング株式会社 ビジネスイノベーション本部 fDX 事業推進室
電話:03-3510-7351 / E-mail:vrl-marketing@b-en-g.co.jp

※本ニュースリリースに記載されている社名、製品名などは、各社の登録商標または商標です。